



SSDワーキンググループ

SSDワーキンググループ部会長
村竹 茂樹

JDSF 2016年新春セミナー
2016年1月27日

・パネルディスカッション : 「OpenTechForum」にて

～これからどうなる?ストレージ最前線と将来像～

モデレーター:株式会社情報産業新聞社 石田仁志様

パネリスト:

株式会社東芝 永井宏一様

マイクロンジャパン株式会社 服部昇様

ヴァイオリン・メモリー株式会社 森山輝彦様

EMCジャパン株式会社 竹内博史様

ご参加いただきありがとうございました

ストレージマガジン : 「ホット」なストレージ

- 2010年予測 : ソリッドストレージ → B
- 2012年予測 : MLCフラッシュストレージ → A+
- 2013年予測 : オールSSDアレイ → B
- 2014年予測 : 次世代半導体ストレージ → C+
ハイパーコンバートストレージ → A-
- 2015年予測 : エンタープライズクラス・全フラッシュストレージ → A
フラッシュ・キャッシング → B
ハイブリッド・ストレージアレイ → B+
- 2016年予測 : 次世代ストレージネットワーキング → ?

2015年： SATASSDの群雄割拠・HDDからSSDの時代へ

2016年予測： SATAからPCIeNVMeが主流へ

主要ベンダーのNVMeが揃う。

RAID構成からNonRAID構成へ

Boot用：SATADOM・eUSB・eMMC

Storage用：SATA・SAS

NANDはMLCからTLC・3DNANDが主流に

HDD並み大容量へ

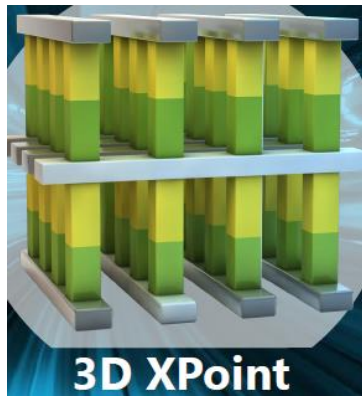
今後注目される点

※NVDIMM・DIMM・PCIeとの使い分けをどうしていくか？

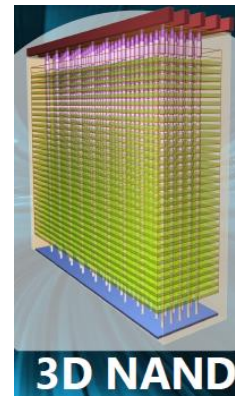
※画像の高精細化により、処理量が多くなりCPUでは処理速度が間に合わなくなりつつある。

そこで、FPGAが注目されている。(IntelのALTERA買収)

2015年: SATASSDの群雄割拠・HDDからSSDの時代へ
2016年予測: SATAからPCIeNVMeが主流へ



1xnm 3D



大容量化

Flash Device

付加価値

I.B

高速化

Dedupe

Replication

MVMe

STT-RAM

PCM

MRAM

常時稼働
シンプロビジョニング



インライン
重複排除



インライン
データ圧縮



インライン
データ暗号化



書き込み可能
スナップショット

